

文献紹介

関連雑誌の特集

医学図書館. 2007 ; 54 (1)

特集：チュートリアル

- 新しいチュートリアル：東京女子医科大学の取り組み
- 神戸大学医学部におけるチュートリアル教材
- 情報リテラシーのためのウェブチュートリアル開発：KITIE (Keio Interactive Tutorial on Information Education) の事例
- 画面キャプチャソフトによる利用者教育用資料の作成：新しい形での利用者教育の可能性への模索
- DynaMed を診療や教育で利用する
- 『An@tomy.tv』：海外の導入実績と活用事例
- 医学画像とアニメーションのライブラリ SMART Imagebase
- 医療専門家を対象とする英語論文投稿に関する教育支援ウェブサイト Ronbun.jp の紹介

薬学図書館. 2007 ; 52 (1)

特集：平成18年度日本薬学図書館協議会研究会
集会：テーマ「医薬情報スペシャリストとしてスキルアップ」

- 新薬学教育への取り組みと問題点
- 医療、医薬品情報の収集と提供
 - ①医薬品専門家への情報提供
 - ②一般市民への情報提供
 - ③患者・医師への情報提供
- IC タグと識別コード
- 日本薬学図書館協議会会員の専門性と継続教育について
- 「医療情報スペシャリストとしてのスキルアップ」を目指した4年間を振り返って

ほすびたるらいぶらりあん. 2007 ; 32 (1)

特集：日本病院ライブラリー協会 2006年度第2回研修会

- 病院図書館におけるコミュニケーション
- 身体教育活動と司書活動とのかかわり
- レファレンスサービス
- 院内への広報活動－東京武蔵野病院の医学図書室における広報活動の変遷

図書館

「健康・医療情報と図書館」－あなたの健康は図書館から

磯野 威ほか

LISN. 2007 ; 131 : 1-24.

第8回図書館総合展フォーラムの24ページにわたる記録。常世田良氏がコーディネーターをつとめた。パネリストがそれぞれ患者・公共図書館員・厚生労働省の立場から健康・医療情報と図書館について話す。

病院図書館におけるコミュニケーション

北村 聖

ほすびたるらいぶらりあん. 2007 ; 32 (1) : 2-5.

コミュニケーションについて、浅く広く概観している。挙げられている事例が今ひとつぴつたりこないが、示唆を受ける点がある。

臨床研修協力病院とのデータベース共同利用：高知大学総合情報センター（図書館）医学部分館の例

文献紹介

田所千峰子

医学図書館. 2007 ; 54 (1) : 69-72.

臨床研修必修化に伴い、地域の協力病院に対する大学の図書館支援という形で、メディカル・オンラインとJDreamを共同利用している事例。経費は、JDreamは平成18年度以降参加費という形で各病院の負担ができたが、メディカル・オンラインについては今も高知大学が負担している。

図書館員の専門性

図書館情報学は役に立つのか？－図書館情報学と専門図書館現場との関係－

山本順一

専門図書館. 2007 ; 222 : 21-6.

タイトルに対し「図書館法施行規則に定める司書教育、図書館情報学教育は、専門図書館の立場からすれば所詮おためごかしで、使えるハズのないもの」と筆者は言いきる。アメリカの現状や専門図書館員があるべき姿を明快に述べていて刺激的な文献である。

受託側から見た図書館業務外注化

橋本進太郎

薬学図書館. 2007 ; 52 (1) : 51-4.

図書館で働きたいと希望する人々は優秀な人材が多いが、現状として正職員として仕事に就けない。そんな人々に現場で活躍の場を与え、スキルアップの機会を提供することで、業界全体の人材育成に寄与できるのではとしているが、結局のところ、業務の外注化そのものが図書館員の人材育成を阻んでいるのではないのだろうか？

その他

専門職への道：Handbookの切り開いた世界

山口直比古

医学図書館. 2007 ; 54 (1) : 20-6.

この場合のハンドブックとは、業務マニュアルだと考えて良いようである。日本語で読める医学図書館に関する歴史的な記述というのは想像以上に少なく、貴重な文献である。

- 文献の入手は、所蔵館へお申し込みください。
- 「情報の科学と技術」は協議会で購読しています。
- 興味ある文献を分かちあいましょう。参考になる文献がございましたら、会誌編集部までお知らせください。